



えがお いっぱい

令和 7 年 4 月 24 日
富士市立富士南小学校
学校だより 5 月号

小中一貫教育目標 「やさしく いきる」
重点目標 「やってみよう！」

4月・5月の生活目標 「すすんで心をつなぐあいさつをしよう」

5月は「皐月（さつき）」とも呼ばれます。5月が田植えをする月であることから「早苗月（さなへつき）」と言っていたのが短くなって「さつき」になったようです。また、「サ」という言葉自体に田植えの意味があるので、「さつき」だけで「田植の月」になるという説もあります。入学式で咲き誇っていた桜の花が、いつの間にか散って若葉が茂り、すでに「田植の月」になったのかと、季節の着実なうつろいを感じます。

以下は、5月の朝礼で子供たちに伝える内容になります。「やってみよう！」とスイッチが入ったお子さんの姿がありましたら、是非とも、背中を押してあげてください。



新しく出会った友達や先生との4月の1か月間の生活はどうだったでしょうか？希望や期待が広がっているのではないのでしょうか？その思いを大切に、満足できる1年間を引き続き目指してください。

さて、5月5日は、何の日か分かりますか？そうです！「こどもの日」です。今日は、「こどもの日」についてお話をします。

5月5日は昔から「端午の節句」と言って、男の子の成長を祝ってきました。男の子が生まれると、その子が健やかに成長することを祈って武者人形（武士の姿の人形）を飾ったり、こいのぼりを立てたりしてお祝いをしています。みなさんの中でも、飾っているお家があると思います。

今では、男の子、女の子の区別なく、5月5日を「こどもの日」として、国民全体でお祝いをしています。5月5日のお祝いでは、昔から色々なことが行われていました。例えば、ちまきや柏餅を食べたり、よもぎや菖蒲（しょうぶ）をお風呂に入れて入ったりします。

これには、理由があります。昔の5月は、今の6月に当たっていて、たくさん雨が降る梅雨の季節でした。じめじめしていてかびが生えやすく、病気になったり、死んでしまったりする子供が多かったので、それを防ぐための願いが込められていました。

今も昔も、親が子供を思う気持ちに変わりはありません。お家の人は、みなさんが、丈夫で健康に育つこと、幸せに生活することを強く願っています。そして、自分の子供の体の健康とともに心の健康にも願いをもっています。困っている相手の気持ちが分かる優しい心、ダメなものはダメ、正しいことをしようとする強い心、色々なことに、どんどん挑戦して自分を高めようとする前向きな心などが育つことです。

学校では、今年、「やってみよう！」を富士南小学校みんなの合言葉にしています。「失敗は、成功のもと」「失敗は成長」～失敗することで成長します。たとえ、自信がなくても、失敗を恐れずに「やってみよう！」と目の前のことに対して一歩踏み出してほしいです。そして、挑戦する心を高めてほしいです。期待しています。

明後日から、お休みが4日間続きます。事故なく、けがなく過ごすことを願っています。



◇「やさしく いきる」～ちょっといい話～◇

「おはよう！髪の毛を切ったの？似合ってるよ。」

ある朝の登校指導をしていたときのことです。4年生の男子児童が、同級生だと思われる友達に掛けた言葉です。言われた子にしてみれば髪の毛を切ったことに気付いてくれたこと、更に、「似合っている。」と言われたこと、朝からうれしさを感じ、心がほかほかになったことと思います。ひょっとしたら髪の毛を切ったことに不安を感じていたかもしれません…。

「相手を、お互いをリスペクトできる子供って素敵だな。」と改めて感じたので、紹介させていただきました。